

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 ひたち野みずべ公園（ひたち野うしく小）

2019年5月27日発行

＜ 初夏しよかのみずべ公園 ～③エゴノキに来る虫たち ＞

5月9日ひたち野うしく小3年生と、16日1年生とのみずべ公園の生きものかんさつ観察、今回はエゴノキと、そこに来た虫たちの紹介しょうかいです。



昨年より少し遅く、ようやく咲き始めたエゴノキ。それでもほのかに、甘い香りが漂っていた。

ハコネウツギと同様、9日にはまだつぼみでしたが、16日には咲き始めました。まだ香りは強くなく、ハチなどの虫たちもあまり来ていませんでしたが、いくつか見られたものを名前だけ紹介しょうかいします。



葉を食べるオカモトトゲエダシャク幼虫(ようちゆう：上左)。ハラビロカマキリの卵らんのう(上右)。エゴツルクビオトシブミのゆりかご(中左)と、成虫(せいちゆう、めす：中右)。ゆりかごと成虫せいちゆう(下)。

エゴノキに来る虫たちについては、23年度26号、30年度13号、28年度4号、25年度4号、16号などでくわしく説明しています。参考にして下さい。 【理科支援員：宮内】